

MONEX Retail Investor Survey



MONEX 個人投資家サーベイ 2011 年 10 月調査

マネックス証券株式会社
www.monex.co.jp

個人投資家の皆様の相場環境に対する意識調査のため、2011 年 10 月 21 日～10 月 24 日にマネックス証券に口座をお持ちのお客様向けにアンケートを実施しました。ご回答くださった皆様には、ご協力に感謝いたします。誠にありがとうございます。今、個人投資家の皆様が、相場をどのようにとらえているのか、調査結果をまとめました。

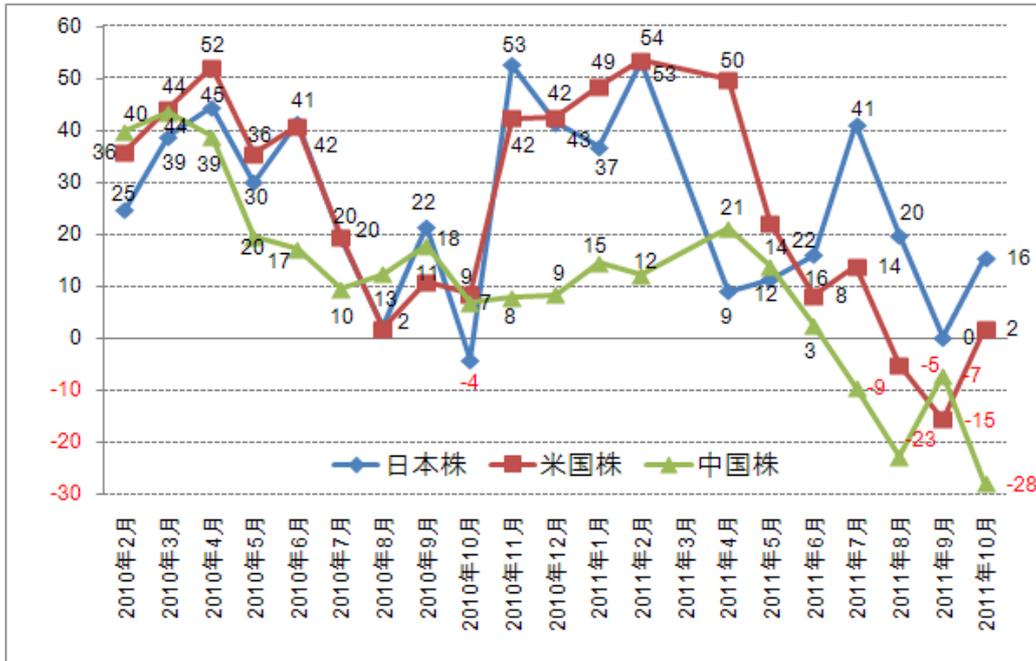
「MONEX 個人投資家サーベイ」は、個人投資家の相場環境に対する意識調査として毎月アンケートを行い、その調査結果をまとめたものです。2009 年 10 月に第 1 回サーベイを行い、月次で公表しております。
(※2011 年 3 月は東日本大震災の状況を鑑み、アンケートを実施していません。)

また、2011 年 6 月より、グループ企業であるトレードステーション証券（米国）、マネックス BOOM 証券（香港）の個人投資家の皆様にも、四半期ごとに同様のアンケートを行い、調査結果を「MONEX グローバル投資家サーベイ」として提供しております。

■ 調査結果

1 株式市場を取り巻く環境について

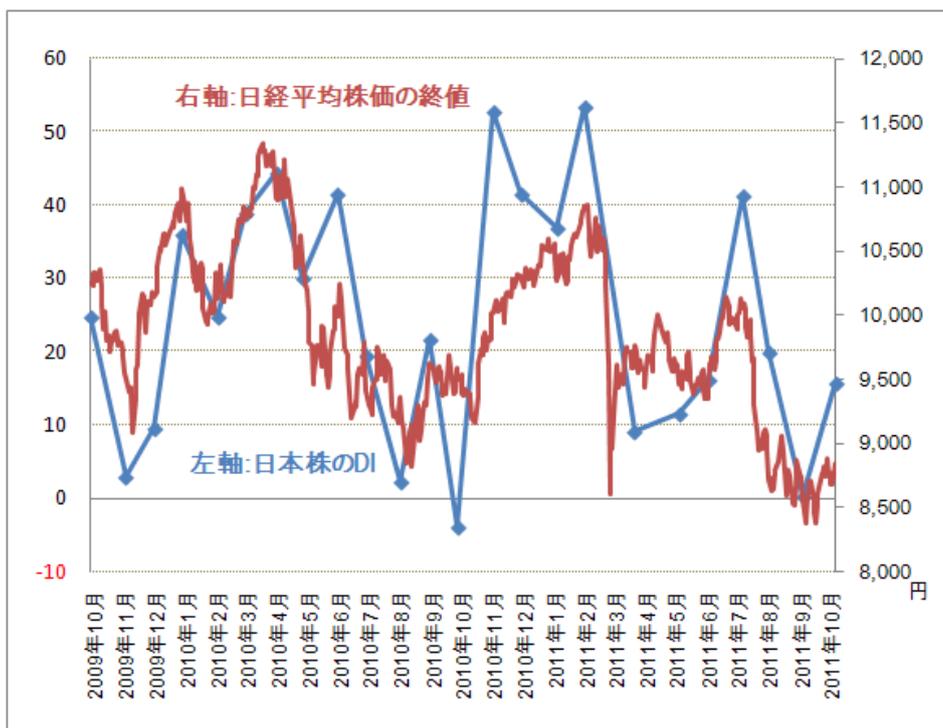
(1) 今後3ヶ月程度の株価予想（日本株、米国株、中国株のDI推移）グラフ①



日本株 DI (※) は+16、米国株 DI は+2 ポイントと、いずれも改善されました。それに対し中国株 DI は-28 と下降し、先々月の-23 を下回る、過去最低のポイントとなりました。

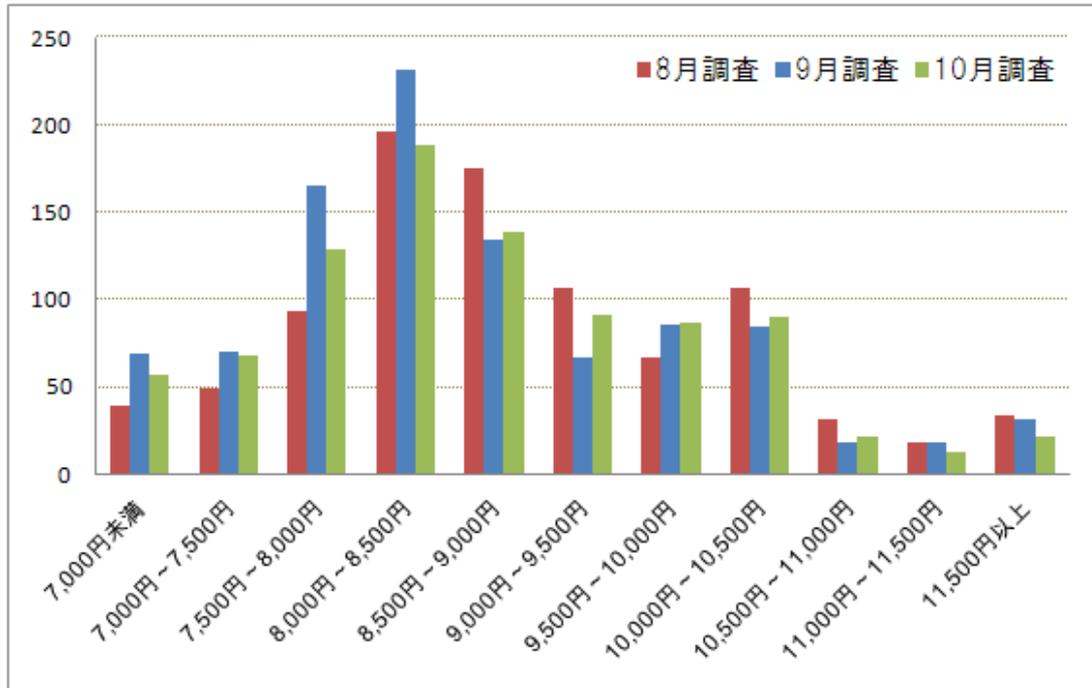
(※DI: 「上昇する」と回答した%から「下落する」と回答した%を引いたポイント)

日経平均株価（終値）と日本株 DI の推移 グラフ②



(2) 日本株を買いきたい水準

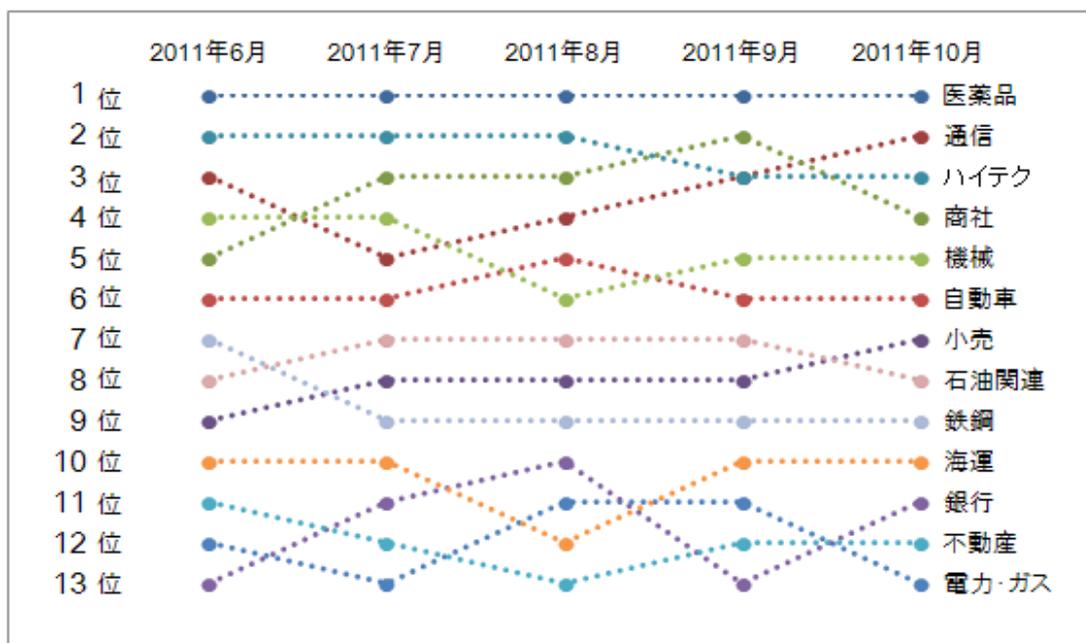
日経平均株価がどの水準であれば、日本株を買いたいと思うか グラフ③



日本株を買いきたい水準を 8,000 円～8,500 円とする回答に集中しました。

(3) 日本市場の各業種に対する今後 3 ヶ月程度の見通し

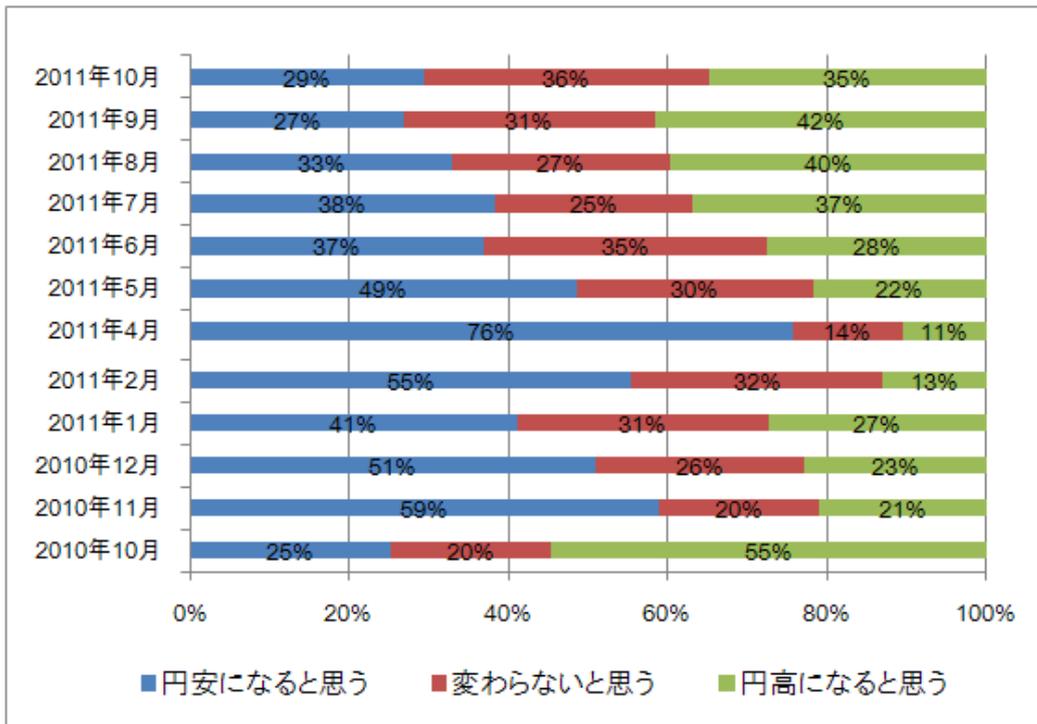
日本投資家の「魅力的であると思う業種」ランキング グラフ④



1位の医薬品は前月と変化なし。上昇を続けていた通信が2位にランクインしたのに対し、同じく上昇を続けた商社は4位に下降しました。前月最下位だった銀行は11位に浮上しました。

2 為替市場について

今後の3ヶ月程度の米ドル/円相場予想 グラフ⑤



過去6ヶ月間にわたり円高予想の割合が増加してきましたが、今月は2011年4月以来に円高予想の割合が減少しました。

3 お客様の日本株取引について

今後3ヶ月の投資意欲について グラフ⑥



投資意欲のDI (※) は前回調査結果の9から14へと上昇しました。(※DI: 売買頻度を増やしたいと回答した%から売買頻度を減らしたいと回答した%を引いたポイント)

■ 総括

マネックス証券 チーフ・ストラテジスト 広木 隆

株式市場の DI については日本株が大きく改善する一方、中国株は過去最低となりました。上海総合指数が 10 月 21 日まで年初来安値更新を続けてきたことを考えれば、極めて納得のいくアンケート結果です。但し、それと比較して米国株の DI の水準が低いのは市場の動きと整合的ではありません。ダウ平均は 21 日に大幅高となったあと、24 日も続伸していますが、その両日を含まない 20 日時点においても月初の年初来安値から 900 ドル弱上昇しており、米国株に対する投資家の見方がもっと強気に傾いてもおかしくないところでした。

魅力的である業種ランキングでは「通信」が 2 位まで順位を上げてきました。「小売」も順位を上げました。外部環境の不透明感が強いなか、為替や海外景気に左右されない内需関連の中核として魅力的と感じる投資家が増えたと考えられます。「通信」には NTT やソフトバンクなどのキャリア大手だけでなく、最近市場で存在感を増すグリーなども含まれていることもこの業種の人気上昇の一因でしょう。

為替については膠着相場を反映して投資家の相場観に大きな変化は見られませんでした。調査期間は 10 月 21 日～10 月 24 日であり、21 日のニューヨーク市場でドル円相場が戦後最高値を更新したニュースは伝わっているはずですが、それでも方向感の予想に変化がないのは、最高値更新はあくまでも投機筋による一時的なものであって、トレンドとして円高が進むとは考えていないのかもしれませんが。介入警戒感との綱引きでドル円相場の水準そのものは大きく動かないとの見方でしょうか。

お客様の投資意欲 DI は前月から若干改善しましたが依然として低水準です。それを反映するように株式市場でも商いが細り、東証 1 部の売買代金は 1 兆円に満たない営業日が続いています。

今回も皆様のご協力により有益な調査結果を得ることができました。皆様の資産運用を考える一助となれば幸いです。

(マネックス証券 チーフ・ストラテジスト 広木 隆)

■ 調査の概要と回答者の属性

調査方式： インターネット調査
 調査対象： マネックス証券に口座を保有している個人投資家
 回答数： 988 件
 調査期間： 2011 年 10 月 21 日～10 月 24 日

【性別】

男性	女性
82.3%	17.7%

【年齢】

未成年	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 歳超
0.4%	4.1%	23.5%	32.3%	18.7%	16.0%	5.0%

【金融資産】

500 万未満	500 万 ～1000 万	1000 万 ～2000 万	2000 万 ～5000 万	5000 万 ～1 億	1 億以上
33.1%	22.6%	17.8%	19.3%	5.6%	1.6%

【売買頻度】

デイトレ	週に数回	月に数回	数ヶ月に1回	それより少ない
4.5%	12.8%	29.0%	29.8%	24.0%

【株式投資のご経験】

1 年未満	2 年～5 年	5 年～10 年	10 年以上
8.6%	26.5%	27.0%	37.9%

本情報は当社が実施したアンケートに基づいて作成したものです。

- ・ 本情報は売買のタイミング等を反映したものではなく、また示唆するものではありません。
- ・ 当社は記載した銘柄の取引を推奨し、勧誘するものではありません。
- ・ 当社は本情報の内容に依拠してお客さまが取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。
- ・ 銘柄選択や売買タイミングなどの投資にかかる最終決定は、お客さまご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。

マネックス証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 165 号
 加入協会：日本証券業協会、（社）金融先物取引業協会